新型コロナウイルス感染症対策　ガイドライン

２０２２年9月１１日版
東北大学バレーボール連盟

【Ⅰ．大会の開催可否について】

１．大会全体の開催可否について

大会を開催する場合は、２週間前までに各チームへ通知する。大会開催地が緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象地域となる場合は、大会の開催を中止または延期を検討する。

２．各週の試合の開催可否について

日々の感染状況を確認の上、以下の通りとする。

（１）大会開催地の状況により、中止または延期を検討する。

① 東北全体で緊急事態宣言およびまん延防止措置の適用が発出した場合。
② 大会開催地が緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象地域となる場合。
③ 県独自の緊急事態宣言等の発令またはイベント開催自粛要請、あるいは大会開催地の要請により大会ができないと判断される場合。
④ 体育館の借用ができない場合。

（２）参加者の状況により、中止または延期を検討する。

① チームの参集が困難な場合（申込数の１／３以上）
② 大会参加者および競技運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合。
③ その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催または継続が困難と想定される場合。

（３）チームが新型コロナにより大会参加が困難になった場合は、申し出（各チームは学連事務局へ連絡する）により、中止または延期とする。

① 毎週火曜日の時点で次の土日の試合に出場できない（または見通しが不明）場合
② チーム全体が大学で実施する新型コロナワクチンの集団接種を行う場合
③ チーム関係者に感染者および濃厚接触者が発生した場合
④ 新型コロナウイルスに関する理由で大学当局からの指示により試合ができない場合

３．出場の可否について

【Ⅲ．新型コロナウイルス感染症に関わる大会参加基準】に詳細を記載する

（１）チームとしての試合出場の可否は、各大学の基準による。

（２）感染者および濃厚接触者は、試合出場を認めない。

※濃厚接触者に当たるかどうかの判断は、保健所等の判断による。

（３）各体育館の新型コロナウイルスに対する対応基準により、体育館への入場を認めない場合がある。

【Ⅱ．新型コロナウイルス感染症対策として行うこと】

参考:JVA大会運営ガイドライン新型コロナウイルス感染防止対策(2022 年4月22日版)
令和4年度 第58回東北高等学校バレーボール選手権大会新型コロナウイルス感染防止対策についての確認事項

１．会場内での行動　※各チームで消毒用アルコールなどを用意してください。

① マスクを持参し、館内では着用してください。
移動するとき、競技を行っていないとき、控え場所で待機する際、ベンチにいるとき、
会話をするとき、更衣室で着替えを行うとき、チームでミーティングするときなど
② こまめな手洗い、アルコール消毒液による手指消毒、咳エチケットの遵守の徹底をしてください。
入館・退館時、食事の前後、トイレの後、競技後など。
③ 控室でもマスクを着用し、食事の際は対面を避け、黙食を徹底してください。
④ 他者との距離（できるだけ 2m 以上）を確保してください。
⑤ 会場出入口およびロビー付近では滞留しないでください。
⑥ 更衣室などでの密集を避け、試合と担当審判が終了したら速やかに退出してください。

２．試合に関して

① コート入場時は、学連委員の指示で移動してください。
② 各チームで会場に持ち込む用具（練習球・トローリーなど）は、使用前後で必ず消毒を行ってください。
③ 監督やキャプテンが記録用紙にサインをする際の青ペンを各チームで準備し、使用の都度消毒を行ってください。
※コートオフィシャルの記録員を担当する際の青ペンも各チームで準備してください。
④ 試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用してください。
また、自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用しても問題ありません。
※ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。
⑤ タオルの共有やドリンクの回し飲み、アイシングバッグなどの共用は絶対に避けてください。また、チーム内で出たゴミは必ず持ち帰ってください。
⑥ 試合前後の握手は、一礼で代替します。試合終了後に相手チームベンチへの挨拶は行わないでください。
⑦ 試合前後やタイムアウトでのベンチ集合時、できるだけ密集・接触を避けてください。
⑧ ベンチおよびウォームアップエリアでは互いに間隔を取り、密を避けてください。
⑨ 大きな声出しは控えてください。また、マスクを外しての声出しは絶対に行わないでください。
⑩ セット終了後、試合終了後は、使用したベンチの消毒をしてください。
⑪ コートオフィシャル（記録員、ラインジャッジ、得点板など）の際も、マスクを着用すること。
⑫ 更衣室などでの密集を避け、試合と担当審判が終了したら速やかに帰宅してください。

３．応援等で禁止する行為　※観客席の応援団も含む。事前に連絡をしてください。
声を出しての応援は禁止とします。また，応援は拍手程度とし、大きな音を出しての応援は禁止とします。

① 声を出しての応援、メガホンの利用　（太鼓等の打楽器や鳴り物も使用不可とします）
② マスクを外した応援（指笛など）
③ 人と接触する応援（ハイタッチ・肩組みなど）
④ 大旗を振る、応援マフラータオルを振り回す
⑤ スティックバルーンの使用（息で膨らませるため）

４．応援等で容認する行為

① 拍手や手拍子
② 応援マフラータオルや応援うちわを自席で掲げる

以　上

【Ⅲ．新型コロナウイルス感染症に関わる大会参加基準】

大会参加の判断基準について 大会への参加の判断は概ね以下の基準とする。
以下の基準をもとに参加の判断は、当該大学当局がすること。

参考：令和４年度 第５８回東北高等学校バレーボール選手権大会新型コロナウイルス感染防止対策についての確認事項

（1）大学の休業によるもの

	状 況	判 断
1	大学の全部または一部が臨時休業になった場合。	・陽性者，濃厚接触者，検査対象者は，保健所または医療機関からの許可があるまで，大会に参加できない。 ・上記以外の者は，感染の可能性がない，または検査結果が陰性であり，行動制限を伴わない場合は，大学当局が出場の可否を判断する。

（2）個人の状況によるもの

	状 況	判 断
1	新型コロナウイルスの陽性者になった場合。	・当該学生およびスタッフ等は，入院やホテル療養，自宅待機等の行動制限を課されている期間，大会に参加できない。 ・陽性判明者が複数判明するなどチーム内で感染の拡大が疑われる場合，チームは大会に参加できない。
2	新型コロナウイルスの濃厚接触者・接触者になった場合。	・当該学生およびスタッフ等は，保健所又は大学から行動制限を課されている期間，大会に参加できない。 ただし、接触から一定期間（５日間）経過し検査を実施し陰性が確認された場合は、出場を認める。
3	新型コロナウイルスの検査対象者になった場合。	・当該学生およびスタッフ等は，検査結果が判明するまで，大会に参加できない。 ただし，検査結果が陰性であり，行動制限を伴わない場合は，大会に参加できる。
4	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。	・当該学生およびスタッフは，検査結果または医療機関による診断結果が判明するまで，大会に参加できない。 ただし，検査結果が陰性であり，行動制限を伴わない場合，または医療機関からの許可があった場合，大会に参加できる。
5	大会１週間前から当日までの間に，発熱や風邪症状，味覚異常等がみられた場合。	
6	大会２週間前から当日までの間に，政府から入国制限，入国後の観察期間を必要とされている国，地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。	

【Ⅳ．入場時の提出物】

（１）チーム関係者は、試合日１４日前より検温などの体調確認を行い、記録する。
① 「大会参加者　健康チェックシート（個人用）」に記録する。
② 自チームの全日程終了（入替戦出場チームは入替戦当日）まで継続すること。
③ 大学指定のアプリ等を用いて管理している場合は、そちらを利用してもよい。

（２）入場時は、指定された時間に、一斉に入場すること。
※時間については、毎週の運営情報で連絡をする。

（３）入場の際は、各チームまたは個人で体温計を用意し、検温を行ったうえで入場する。
その際、来場者管理シートを提出すること。
※健康チェックシート（個人用）は　提出不要
※学連と体育館で共有する。

チーム：①チーム用を２部

応援者：②応援者用を２部

（４）体育館の管理者の指示により、上記に加えて健康チェックシート（個人用）の提出を求める場合がある。（事前に運営情報で連絡をする。）

（５）大会役員（学連委員、審判員も含む）は、受付にて検温を行い、来場者管理シート「③役員用」に必要事項を記入の上入場すること。（健康チェックシートは、提出不要）

（６）報道関係者、企業関係者は、受付にて身分の確認（名刺の受領）と検温を行い、来場者管理シート「④報道・企業関係者用」に必要事項を記入の上入場すること。（健康チェックシートは、提出不要）

【Ⅴ．応援者の入場について】

１．応援者の範囲

（１） 応援者の範囲は、各チームが入場を許可する範囲とする。（基本は保護者およびその家族、チームＯＢ・ＯＧとするが、チームの責任により範囲を広げてもよい）

（２） 感染者の発生や地域情勢等により、急遽、応援者の入場を取りやめることがある。

（３） 入場可能人数や応援場所などの詳細については、毎週の運営情報で連絡を行う。

２．入場手順

・チーム代表者等または応援者の代表者が健康状態を確認し、別紙「来場者管理シート②応援者用」に当日入場する応援者の情報を記入し、受付に２部提出の上、指定時間に一斉に入場する。

・応援者の入場は、試合開始の２０分前からとする。前の試合が遅れた場合は、前の試合の応援者が全員退出してから入場する。その後に試合がある場合も一度体育館外に退出し、時間になったら一斉に再入場（別紙の再提出は不要）する。連続試合の場合に限り、そのまま応援席で待機することを認める。

・応援者の入場および退場は、一斉に行うこと。途中入場は認めない。途中退出した場合は次の一斉入場まで入場できない。

３．感染防止

・観客席や体育館外において密になるような行為はしないこと。

・応援は、指定の場所（運営情報に記載）のみとし、試合後は速やかに退出すること。

・自チームの応援に限り観客席での応援を認める。

・応援は拍手のみとし、声援は行わない。（メガホン、太鼓などの叩いて音を出すことも禁止）

・自チーム以外の観戦およびビデオ撮影は認めない。（ビデオ撮影は受付での申し出が必要）

・応援者は、選手エリアに入ることは禁ずる。

・横断幕は、他のチームが接触することが無いようにすること。また設置のために応援者が選手エリアに入ることは禁ずる。

・観客席を退出する際に、使用した場所を応援者が消毒すること。

以上